

令和元年度

大阪教育大学

附属学校園案内

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY Affiliated Schools and Kindergarten



国立大学法人

大阪教育大学



国立大学法人大阪教育大学
理事(附属・研究・国際担当)
森田 英嗣

附属学校園で 新たなチャレンジを!

日本はいま、これまでに経験したことのない変化に見舞われています。それは「格差社会」、「少子化」、「グローバルゼーション」、「AI」、「Society5.0」などの用語を用いて語られる変化です。

大阪教育大学附属学校園では、大学の学部および大学院と一体となって、これまで以上に、社会の変化に敏感に対応し、新しい時代の学校教育を切り拓く旗手としての役割を果たすため、大きな改革に着手しています。それはチャレンジングですが、この時代に生まれた私たちに与えられた使命であり、かつまた特権でもあります。

みなさまがこれまで学校現場で培ってこられた実践力・研究力を、是非ともお貸しください。次の時代の新しい学校教育の新モデルをとものに創りましょう。

みなさまのチャレンジをお待ちしております。



国立大学法人 大阪教育大学
附属学校部長
井上 博文

新しい舞台で

大阪教育大学附属学校園という舞台で新しい自己の可能性に出会ってみませんか?

環境を変えることで、気づかなかった能力を発見したり、伸び悩んでいた知識・技能がぐんと伸長したりすることがよくあります。教育に関する具体的な課題意識を持った先生、大歓迎です。大阪教育大学附属学校園では、各地区・校種・学校で、先端的な研究をはじめ、それぞれにユニークな教育・研究活動を実践しています。そこに実践的教育・研究活動に励む仲間がいます。

子どもたちの学び・育ちを支援・指導することは、役割であるとともに教師自らの学びとなります。附属学校園での教師生活は、これまでとは違った観点から教育を捉え直し、実践的教育力の向上を図る楽しい機会となることでしょう。そして、交流期間を終えて再び地域や学校でリーダー的存在となって、ご活躍くださることを願っております。

大学沿革

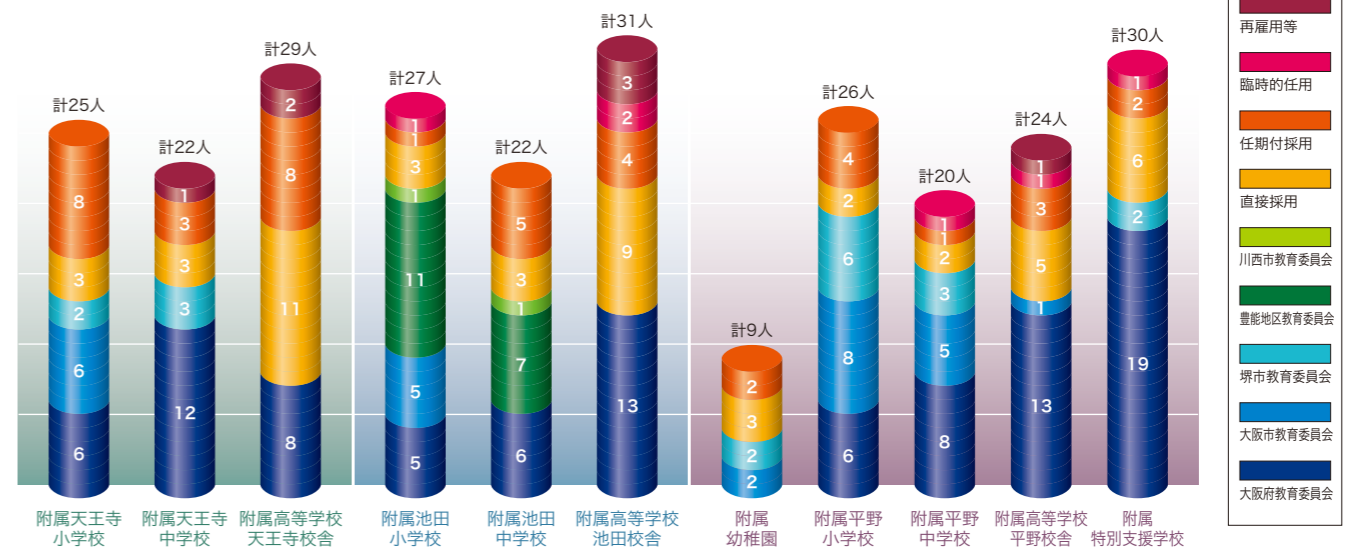
| | |
|--------------|---|
| 1874 (明治7年) | 東本願寺難波別院(南御堂)内に「教員伝習所」を設置 |
| 1875 (明治8年) | 教員伝習所を「大阪府師範学校」と改称 |
| 1877 (明治10年) | 興正寺別院(現大阪市北区天満4丁目)に移転 |
| 1877 (明治10年) | 久留米藩蔵屋敷跡(常安町玉江橋南詰=現大阪市北区中之島4丁目)に校舎を新設し移転 |
| 1878 (明治11年) | 廃校となった官立大阪府師範学校跡地(上本町法円坂町)に移転 |
| 1881 (明治14年) | 再び常安町(現大阪市北区中之島4丁目)に移転 大阪府師範学校を「府立大阪府師範学校」と改称 |
| 1885 (明治18年) | 女子師範学科が附設されるも、翌年分離独立 |
| 1890 (明治23年) | 府立大阪府師範学校を「大阪府尋常師範学校」と改称 女子師範学科を再置 |
| 1898 (明治31年) | 大阪府尋常師範学校を「大阪府師範学校」と再改称 |
| 1900 (明治33年) | 女子師範学科が大阪府尋常師範学校より独立し、「大阪府女子師範学校」となる |
| 1901 (明治34年) | 大阪府師範学校が現天王寺キャンパス(天王寺区南河堀町)に新校舎を竣工、移転 |
| 1908 (明治41年) | 豊能郡池田町に「大阪府池田師範学校」設立 大阪府師範学校を「大阪府天王寺師範学校」と改称 |
| 1927 (昭和2年) | 大阪府女子師範学校が住吉区平野流町に新校舎を竣工、移転 |
| 1937 (昭和12年) | 大阪府天王寺師範学校の校舎を改築 |
| 1942 (昭和17年) | 池田市城南(現池田市城南3丁目)に新校舎竣工、移転 |
| 1943 (昭和18年) | 学制改革により、大阪府天王寺師範学校と大阪府女子師範学校が「大阪第一師範学校」、大阪府池田師範学校が「大阪第二師範学校」と改称 |
| 1949 (昭和24年) | 学制改革により、大阪第一師範学校及び大阪第二師範学校を包括して「大阪学芸大学」が設置 |
| 1954 (昭和29年) | 第二部(夜間課程)設置 |
| 1967 (昭和42年) | 大阪学芸大学を「大阪教育大学」に学名変更 |
| 1988 (昭和63年) | 教養学科を設置 |
| 1992 (平成4年) | 統合により柏原キャンパスへ移転 |
| 2000 (平成12年) | 放送大学大阪学習センターとの合築により、天王寺キャンパスに新校舎が完成 |
| 2003 (平成15年) | 学校危機メンタルサポートセンター設置 |
| 2004 (平成16年) | 国立大学法人大阪教育大学発足 |
| 2010 (平成22年) | 附属池田小学校が、International Safe Schoolに認証 |
| 2014 (平成26年) | 附属池田中学校が、International Safe Schoolに認証 |
| 2015 (平成27年) | 附属池田小学校及び附属池田中学校がセーフティプロモーションスクールに認証 |
| 2017 (平成29年) | 教養学科を廃止し、教育協働学科を設置 |

附属学校園の前身

| | |
|--------------|--|
| 1877 (明治10年) | 大阪府師範学校に附属小学校を設置【附属天王寺小学校】 |
| 1892 (明治25年) | 大阪府尋常師範学校附属幼稚園開園【附属幼稚園】 |
| 1900 (明治33年) | 大阪府女子師範学校附属小学校として創立【附属平野小学校】 |
| 1909 (明治42年) | 池田町立尋常高等小学校の一部を大阪府池田師範学校附属小学校に代用【附属池田小学校】 |
| 1947 (昭和22年) | 大阪第一師範学校に附属天王寺中学校【附属天王寺中学校】及び女子部附属中学校【附属平野中学校】を設置 大阪第二師範学校に男子部附属中学校を設置【附属池田中学校】 |
| 1956 (昭和31年) | 大阪学芸大学に附属高等学校天王寺校舎【附属高等学校天王寺校舎】及び池田校舎【附属高等学校池田校舎】を設置 |
| 1966 (昭和41年) | 大阪学芸大学附属養護学校創設【附属特別支援学校】 |
| 1972 (昭和47年) | 大阪教育大学附属高等学校平野校舎開設【附属高等学校平野校舎】 |

●附属学校園人事交流状況

令和元年5月1日現在 ※病気休暇取得者・産前産後休暇取得者・育児休業者を含む
(臨時的任用は、病気休暇取得者・産前産後休暇取得者・育児休業者の代替者を表す)



天王寺地区

〈研究テーマ〉
人間と科学の調和を拓くリテラシー教育
 物事に対する知的好奇心を基礎に、科学的・論理的な知識や技能を活用し、課題の発見や解決への道を体験的な学びを通して開拓していくリテラシーの育成をめざす
 (平成22年度～) TENNOJI District

附属天王寺小学校




平成30年度文部科学省から「業務改善」の委託事業に取り組んだ本校では、「研究の進め方」「行事の在り方」を抜本的に改革中です。大幅に時間を短縮した会議、PTAと共同した行事運営、インターンシップ学生の積極的運用、卒業生ボランティア組織の構築、地域貢献としての研究会開催など、試行錯誤しながら、新しいチャレンジを行い、発信しています。

池田地区

〈研究テーマ〉
社会とつながり、明日を切り拓く資質・能力の育成
 (平成31年度～) IKEDA District

附属池田小学校




本校は平成27年3月に日本初となるセーフティプロモーションスクールに認証され、学校安全の推進に取り組んでいます。また、その成果を広く発信しており、国内外の学校と人的・学術的交流が盛んです。さらに、教育研究会や地域の教育委員会と連携しての初任者研修・中堅教員研修を実施し、教員の研修校としての役割を担っています。

附属天王寺中学校



「質実剛健」の校風を持ち、歴史と伝統を誇る「天王寺学びのもり」から多くの有為な人材を輩出してきました。本物体験とコミュニケーション能力を高める場が数多くプログラムされています。さらに、新しい文化や情報の発信を行い、教員・生徒をはじめ保護者やステークホルダーすべての人々の力を結集して、「学びたい学校、学んでよかった学校、学ばせたい学校」をめざしています。

附属高等学校天王寺校舎




生徒の自主的な創意工夫を尊重した、協同的な学習・教育環境を作っています。本物・実物の体験を重視し、多様な知的好奇心に応える活動の場を提供しています。平成27年度よりスーパーサイエンスハイスクール(SSH)第2期の指定を受け、科学を支える人材の育成を進めるとともに、米国、タイの理数科高校との交流も進めています。

附属池田中学校

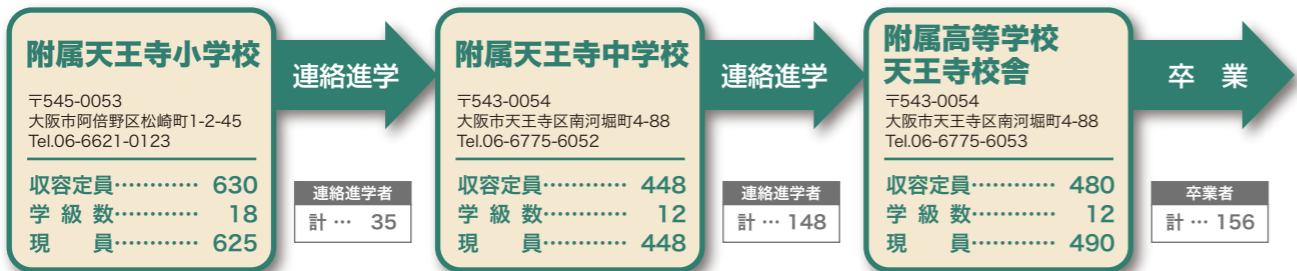


本校は、教員と生徒、生徒相互のよりよい関係を確立し、自由な校風の中、「自主・自律」の精神を培い、学びの基礎・基本の確立と確かな学力の育成を目指しています。セーフティプロモーションスクールとして生徒主体の学校安全を発信しています。また、グローバル感覚をもった生徒の育成にも力を入れ、新しい教育の開発を行っています。

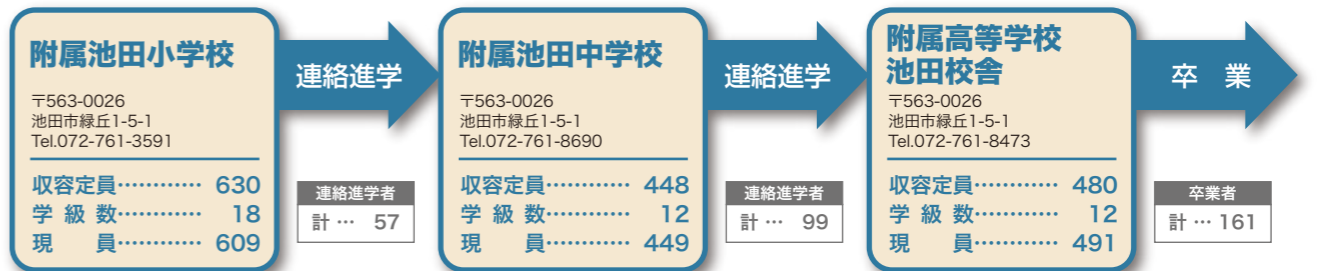
附属高等学校池田校舎



自由・自主・自律の校風のもと、生徒一人ひとりの個性を大切にする教育を行っています。体験を通じた学びを重視し、教育研究校として質の高い教養を育む教育を実践しています。国際教育にも力を入れ、持続可能な開発のための教育(ESD)の学習を通して世界の諸問題に対する理解の深化と、解決に向けて主体的・探究的に取り組む態度と能力の育成を図っています。2004年にはユネスコ・スクールに登録され、アジアや北欧の高等学校との交流を続けています。



●数字は令和元年5月1日現在



●数字は令和元年5月1日現在

◎ 労働条件・環境

交流協定により公立学校から人事交流で大阪教育大学附属学校園に採用される教員の処遇については、国家公務員の処遇を参考に、就業規則等で規定しており、概要は次のとおりです

給与は、基本給に教職調整額、義務教育等教員特別手当、地域手当、通勤手当、住居手当、扶養手当、基本給の調整額、管理職手当、特殊勤務手当などが勤務条件等により加算され、原則として毎月21日に支給されます。期末・勤勉手当は原則として6月30日及び12月10日に支給されます。

勤務時間については、各附属学校園の勤務実態等を考慮の上「1年単位の变形労働時間制」を適用します。この制度は、業務に繁閑のある事業場において、繁忙期に1日の労働時間を長時間に設定し、かつ、閑散期に1日の労働時間を短時間に設定したり、休日を増やしたりすることで労働時間を効率的に配分しようとするものです。

年次休暇は、1年につき20日が与えられ20日を限度として翌年に繰越すことができますので最大で40日付与されます。また、1時間単位での取得が可能です。

病欠休暇は、連続する場合、原則として90日(断続する場合は通算して90日)を超えることができません。

年金・退職手当は、双方で通算されます。

なお、公務員ではないため、雇用保険や労災保険が適用されますが、健康保険等は文部科学省共済組合の適用となります。

(上記内容は、今後変更される可能性があります。)

労働条件に関する詳細については右のQRコードで確認できます。



人事課人事係 E-mail:ninyo@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

◎ 研究会 参画状況

大阪府内を始めとする、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、教育委員会、大学及び各種学会・研究会などの依頼を受け、講師、発表者、パネラー、研究協力者として多数の教諭が参画しています。

各校種からの参画者数は下記のとおりです。

- 附属小学校 のべ87人
(小学校48, 中学校2, 大学8, 教育委員会8, その他21)
- 附属中学校 のべ35人
(小学校6, 中学校6, 中高等学校1, 大学11, 教育委員会3, その他8)
- 附属高等学校 のべ48人
(高等学校1, 大学16, 教育委員会1, その他30)
- 附属特別支援学校 のべ40人
(小学校5, 特支2, 大学17, その他16)
- 附属幼稚園 のべ5人
(大学3, その他2)

合計…215人

※平成30年度実績

◎ 大学院での研修について

より高度な知識を習得し、資質・能力の向上を図り、そこで得た知識・実践力などを附属学校園に還元するシステムとして、内地研修制度があります。

研修期間は2年で、研修期間中も給与は通常どおり支給されます。

天王寺キャンパスで夜間開講される大学院連合教職実践研究科(教職大学院)でのみ研修が可能です。

入学選考があり、検定料、入学科及び授業料は個人負担となりますが、免除申請を行うことで、授業料が免除されます。

◎ 教育実習について

教員を養成する上で、最も重要とされるものの一つに教育実習があります。附属学校園では、年間を通じ、数多くの教育実習生を受け入れています。

小学校…243人、中学校…187人、高等学校…110人、幼稚園…17人、特別支援学校…15人

※平成30年度に本学学生を受け入れた実績です。

平野地区

〈研究テーマ〉
生涯発達の視点に基づいた
校種間連携型一貫教育
(平成28年度～)

HIRANO District

附属幼稚園



「すこやかに、あたたかく、遊びに生きる子ども」という教育目標のもと、主体的に生活する子どもの育成をめざしています。園内の豊かな自然環境(実のなる木、様々な動物等)、ものや身近な人々との関わりを通して学びが深まるよう取り組んでいます。また、保護者による「手づくり給食」を実施し、保育内容にも食の関心に繋がる内容を取り入れながら食育を推進しています。

附属平野小学校



教育目標「ひとりで考え ひととを考え 最後までやりぬく子」を基盤とし、平成28年度から文部科学省研究開発学校として新教科「未来そうぞう科」及び「各教科・領域における『未来そうぞう』」の研究に取り組んでいます。教職員・保護者・卒業生・地域が一体となって、子どもたちの健やかな成長に向けて、特色ある学校づくりに取り組んでいます。

附属平野中学校



本校では、21世紀を生き抜く力として、「考える力」「確かめる力」「発動する力」を育むことをめざしています。学校・家庭・地域が一体となり、さらに、平野地区に存する五つの校園の叡智を集結しながら教育実践を重ねています。また、「附中生は行事で育つ」と言われるように、授業だけでなく、臨海学舎や文化祭など、特色ある学校行事も活かしながら、自律への意志や、協働への意欲を高めています。

附属高等学校平野校舎

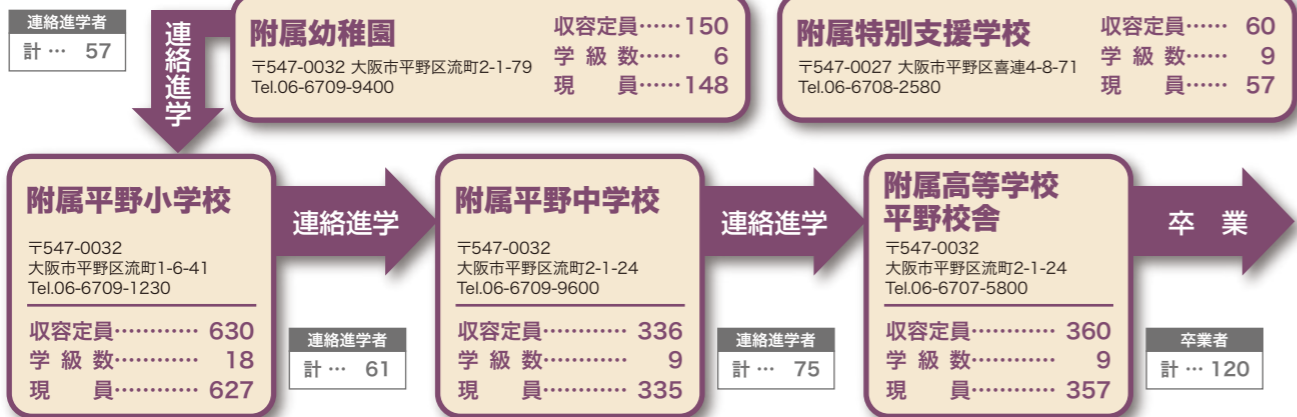


平成27年度よりスーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定され、「海外研修」や「国際的な社会課題に関する課題研究」等のカリキュラムをととしてグローバルリーダーの育成に取り組んでいます。また、大阪教育大学と協働した「課題解決型学習の指導法・評価法研究」や平野五校園が一体となって取り組む「平野五校園共同研究」では、その研究成果を積極的に全国に発信し普及に努めています。

附属特別支援学校



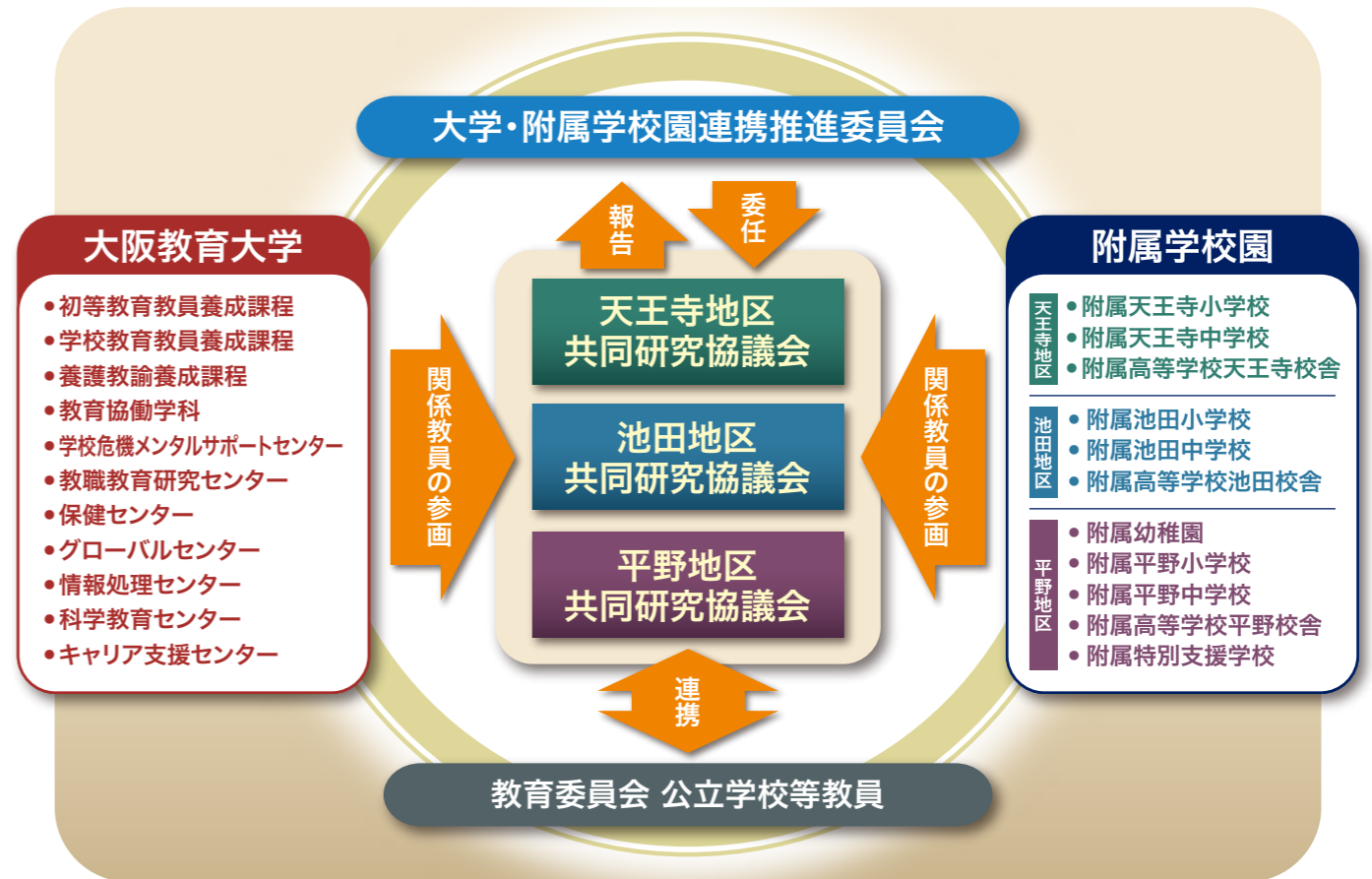
本校は、知的障害のある児童生徒が在籍している学校です。「明るく健康で意欲的な子ども」をめざす子ども像とし、一人ひとりの個性を尊重した教育実践を日々積み重ねています。小学部からキャリア教育の視点を取り入れ、自分で考え行動でき、また仲間と共に活動し、主体的に社会に関わるように、魅力ある授業づくりに取り組んでいます。



●数字は令和元年5月1日現在

●大学・附属学校園との共同研究

大学・附属学校園連携推進委員会の下に設置した各地区(天王寺、池田、平野)共同研究協議会において、地区ごとに共同研究テーマを設定し、学校教育の充実と発展に寄与する共同研究を行い、国の拠点校、地域のモデル校となるよう、附属学校園を活用した教育研究を推進することが決定されました。中期計画・年度計画にも共同研究の推進が謳われており、地区ごとに設定した共同研究テーマを3~4年計画で推進するための取組が進められています。



人事交流により附属学校園で勤務されている先生方の感想



境 建人教諭

附属小学校では、授業公開を行う機会が数多くあります。教材を研究し、実践を行い、同僚の先生方から助言をいただき、振り返ることで授業力の向上につながっています。また、同僚の先生方の公開授業やそのあとの研究協議会に参加させていただき、実践や意見を聞くことで、授業に対する視野が広がりました。附属小学校ならではの、この環境を活かし、研究の推進に務めたいと考えています。

附属池田小学校勤務(交流元:大阪府豊能地区教職員人事協議会)



浦瀬 奈都教諭

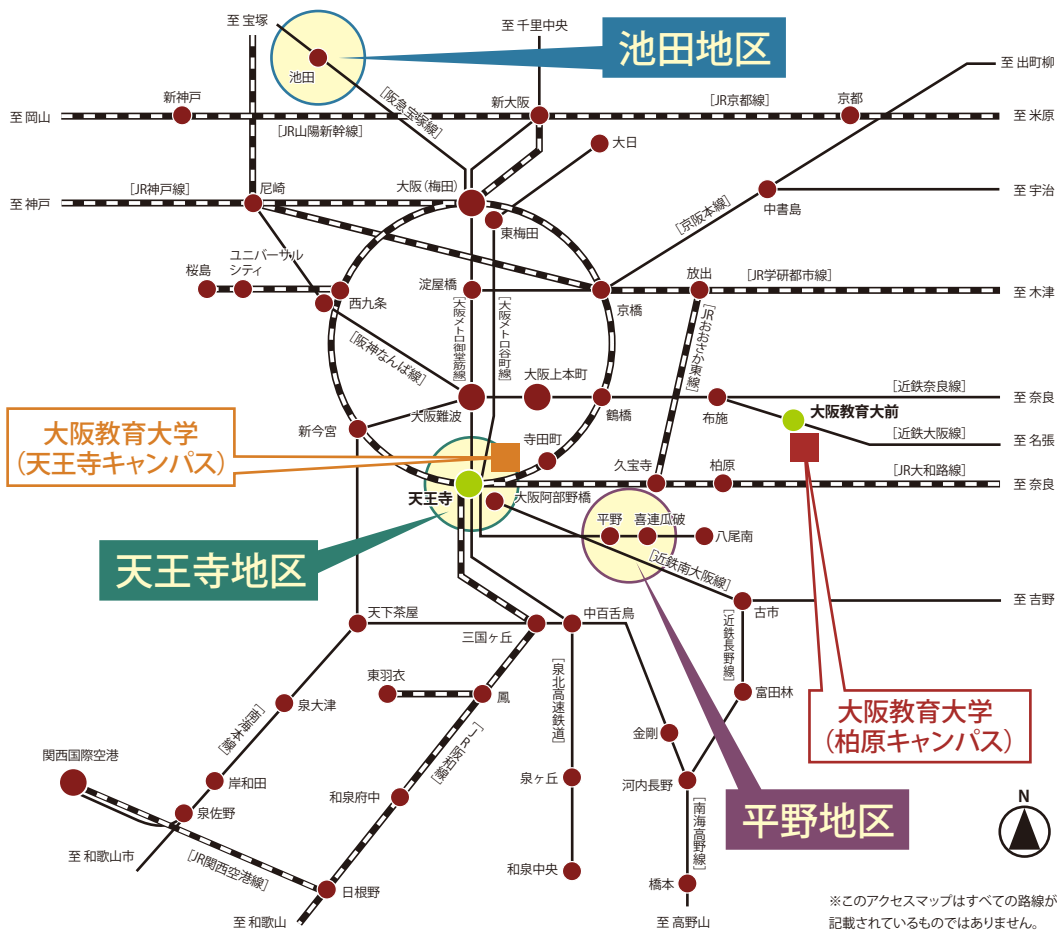
私が附属中学校に赴任して大きく変わったと実感しているのは「授業の質」です。これまでは、子どもたちにつけたい力を明確にすることができず、授業づくりについて頭を悩ませる日々でした。しかし、附属学校では校内外の研究会など、教科について考える機会が多くあり、また、日々の授業でも知的的好奇心旺盛な生徒から、教科の本質を突くような質問が飛び交い、生徒といっしょに私自身も教科の学びを深めることができています。大学が近いので、タイムリーに指導をいただいたり、新しい情報を手に入れたりできるのもありがたい環境です。このような貴重な経験をさせていただいた私からも、授業の楽しさについて発信できるよう、今後も精進してまいります。

附属平野中学校勤務(交流元:大阪府教育委員会)

各附属学校園の研究発表会等予定

附属学校園では下記の日程で研究発表会等を予定しております。詳細につきましては、各学校園のHPをご覧ください。

| | | |
|--------------|--------------|--------------|
| ■附属天王寺小学校 | 令和2年2月14・15日 | 研究発表会 |
| ■附属天王寺中・高等学校 | 令和元年11月9日 | 教育研究会 |
| ■附属高等学校天王寺校舎 | 令和元年12月14日 | SSH生徒研究発表会 |
| ■池田地区 | 令和元年11月23日 | 小中高発表会 |
| ■附属池田小学校 | 令和2年2月22日 | 附属池田小学校教育研修会 |
| ■平野地区 | 令和元年11月9日 | 五校園共同研究発表会 |
| ■附属平野小学校 | 令和2年2月7・8日 | 研究発表会 |
| ■附属平野中学校 | 令和元年11月9日 | 研究発表会 |
| ■附属高等学校平野校舎 | 令和2年1月11日 | SGH課題研究発表会 |
| ■附属特別支援学校 | 令和元年7月29日 | 公開研修会 |
| ■附属幼稚園 | 令和元年11月9日 | 保育研究会 |



※このアクセスマップはすべての路線が記載されているものではありません。

編集発行 **大阪教育大学附属学校部**
 〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1
 E-mail fuzoku@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
 Tel.072-978-4017 Fax.072-978-3262

大阪教育大学Webページ
<https://osaka-kyoiku.ac.jp/>